

KRI 蓄電池ワークショップ2025

「蓄電技術の今、混沌世界の中で 日本がこれから進むべき道とは」

エネルギー変換研究部

●とき 2025年10月17日(金)

●ところ コングレススクエア グラングリーン大阪(リアル開催のみ)

9:30-10:30 受付・ポスターセッション

10:30-10:35 挨拶
KRI 常務執行役員 木下 肇

10:35-10:50 ワークショップ開催にあたり
旭化成株式会社 名誉フェロー 吉野 彰 氏
株式会社 KRI 特別顧問

10:50-12:10 「EVのティアダウンから見たリチウムイオン電池技術のトレンド」
～中国の技術トレンドが主流となっていくのか？～
株式会社飯豊電池研究所 吉武 秀哉 氏

12:10-13:30 昼食・ポスターセッション

13:30-14:20 「混沌世界の中での日本の立ち位置と進むべき方向とは」
～蓄電社会の現状認識と次なるシナリオ～
Mobility Open Blockchain Initiative 理事
株式会社伊藤忠総研 エグゼクティブ・フェロー 深尾 三四郎 氏

14:20-15:10 「最新のLIB市場動向」
～各国プレーヤーの戦略とポジショニング～
株式会社B3 代表取締役 竹下 秀夫 氏

15:10-16:10 パネルディスカッション
「蓄電技術の今、混沌世界の中で日本がこれから進むべき道とは」

パネリスト:吉武 秀哉 氏
深尾 三四郎 氏
竹下 秀夫 氏

モデレータ:吉野 彰 氏

「蓄電技術の今、混沌世界の中で 日本がこれから進むべき道とは」

エネルギー変換研究部

蓄電池ワークショップ趣旨：

トランプ旋風の米国やEV失速からEV回帰(?)など目まぐるしい動きの欧州、更にはASEAN、グローバルサウス諸国との新たな動きなど益々先の見えにくくなった最近のEVマーケット動向、その中で中国は着々とEV化を進めています。

本年のワークショップでは、こうした状況の中で日本として進むべき方向、活路を見出すための道とは何なのか議論を進めたいと思います。議論のポイントは、①直近のLIB市場状況、②各国の思惑とEV戦略、③中国のLIB技術の真実の3点です。

ご講演内容としては、中国をはじめとする最新EVや搭載される蓄電池性能などの最先端の蓄電技術に精通され、リバースエンジニアリングから見た技術トレンドや潜む課題などをリアルに発信されておられます飯豊電池研究所の吉武様、EVや蓄電業界の世界的な動向や今後のシナリオ、日本の立ち位置について、MOBI／伊藤忠総研の深尾様、蓄電分野のグローバルな視点での情勢やマーケット動向について、B3の竹下様にご登壇いただき、各先生方のお考え、今後の進むべき方向や想いをお話しいただく予定です。さらに、各先生のご講演の後、旭化成 名誉フェロー／KRI 特別顧問 吉野彰先生と3名の先生方によるパネルディスカッションを予定しております。

コーディネーター・パネルディスカッションモダレータ ご紹介：

旭化成株式会社 名誉フェロー／KRI 特別顧問 吉野 彰 氏

(ご紹介)

国内、国外の団体から多くの賞を受賞し、2004年度には紫綬褒章、2013年にロシアのGlobal Energy Prize、2014年に米国のNational Academy Charles Stark Draper Prize、2018年に日本国際賞を受賞。2019年には、欧州発明家賞、ノーベル化学賞、2023年にVinFuture Grand Prizeを受賞。

講演者・パネリスト ご紹介：

株式会社飯豊電池研究所 吉武 秀哉 氏

(ご紹介)

1986年～2011年宇部興産株式会社にてリチウムイオン電池用電解液事業を創設。機能性電解液を提唱し世界シェア1位(98年～2008年)に導く。2011年～2020年：国立大学法人山形大学大学院にて「xEVティアダウン」と「逐次二軸湿式セパレータ」研究に着手。2016年「xEVティアダウン」に特化した(株)飯豊電池研究所を開設し現在に至る。2011年～2025年に調査した日欧米中韓印のxEVは50台以上。2004年には、電気化学会技術賞(棚橋賞)、2005年に日本化学工業協会技術賞(総合賞)を受賞。

Mobility Open Blockchain Initiative 理事／ 株式会社伊藤忠総研 エグゼクティブ・フェロー 深尾 三四郎 氏

(ご紹介)

1981年生まれ。経団連奨学生として麻布高校から英UWCに留学し国際バカロレアを取得。2003年英ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(LSE)地理・環境学部卒。ヘッジファンドや国内外金融機関でのアナリストを経て、2019年より現職。自動車業界で世界最大のブロックチェーン国際標準化団体「MOBI」ではアジア人として唯一の理事も務める。

株式会社B3 代表取締役 竹下 秀夫 氏

(ご紹介)

1991年 東京大学工学部反応化学科卒。1991年 株式会社野村総合研究所入社、以降現在まで継続してLIB業界調査・コンサルティングに従事。

2012年4月 株式会社B3設立、代表取締役就任。担当：LIBのセルおよび材料の技術・市場調査、モバイル・IT市場、xEV市場、ESS市場調査、および関連事業コンサルティング・実行支援。